

2025 年 11 月

環境にも配慮した中庭のアートなツリー

ザ・プリンス 京都宝ヶ池

オーナメントに「竹」素材と伝統工芸の「裂地」を使用
やさしい光を放つツリーで、ホテル中庭が特別な空間に。

点灯期間:2025 年 11 月 19 日(水)～2026 年 2 月 28 日(土)

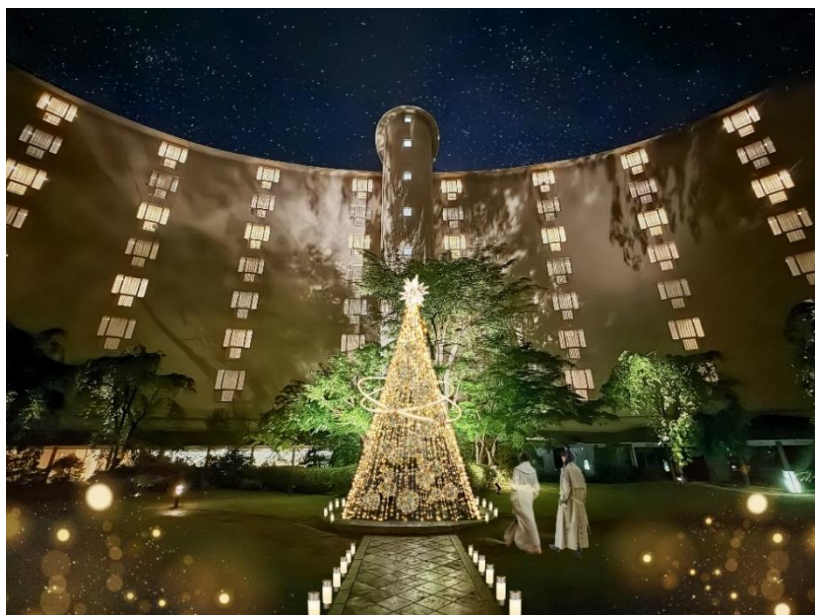


ザ・プリンス 京都宝ヶ池(所在地:京都市左京区宝ヶ池、総支配人:人見啓介)は 2025 年 11 月 19 日(水)より、中庭に高さ約 5m のツリーを設置し、木々のライトアップを実施いたします。

本年はオーナメントの素材のひとつに、伐採後も成長が早く、成長の際に CO2 を吸収するなど環境負荷の低減につながるサステナブルな「竹」を使用し、関西在住の竹アーティスト三橋玄氏が製作いたします。

また、2025-2026 カウントダウンイベントではこのツリーに、雛人形や五月人形制作の際にできる「裂地」でくるんだオーナメントをお客さまに取り付けていただきます。裂地は京都市内にある京人形の老舗安藤人形店よりご提供いただきました。京の伝統工芸の美意識を感じるさまざまな色と模様の裂地を球状の土台に貼りつけ、オーナメントとしてリメイクいたします。

ザ・プリンス 京都宝ヶ池は本年 5 月 SDGs を実践する宿泊施設の国際認証「Sakura Quality An ESG Practice (通称:サクラクオリティグリーン)」の「4御衣黄(ぎょいこう)ザクラ」を取得いたしました。今後もあらゆる機会を逃さず SDGs の取り組みを推進してまいります。



優美な曲線を描くホテル棟に囲まれた静謐な中庭に設置されたツリー (イメージイラスト) (左)
雛人形、五月人形の裂地 (右上) 竹製オーナメント (右下)

ツリー&中庭ライトアップ実施概要

【期間】 2025 年 11 月 19 日(水)～2026 年 2 月 28 日(土) 【点灯時間】 日没～12:00MID.

ホテル中庭はどなたでもご入場いただけます。下記 Web サイトでもご案内しています。

<https://www.princehotels.co.jp/kyoto/informations/illumination2025/>

©本件に関する報道各位からのお問合せ先
ザ・プリンス 京都宝ヶ池 マーケティング担当
TEL:075-712-1150(マーケティング直通)
E-mail:kyt-pln@princehotels.co.jp

<2025ー2026 カウントダウンイベントについて>

【日時】 2025 年 12 月 31 日 (水) 11:45P.M.~2026 年 1 月 1 日 (元日) 0:15A.M. (終了予定)

【会場】 ホテル中庭 【内容】 カウントダウンコール ふるまい酒の提供

ご宿泊者さま限定の無料イベントです。裂地でくるんだオーナメント「福結び飾り」をお客さまご自身で中庭のツリーに吊るしていただきます。※配布は先着順で数量限定です。※天候等により会場が変更になる場合がございます。

<安藤人形店について>

安藤人形店は京都市上京区にある雛人形・五月人形・人形の製造・卸・小売の老舗。

今回は同店の SDGs の取り組みのひとつとして、オーナメント約 100 個分の裂地をご提供いただきました。

黄綬褒章・瑞宝単光章受章の雛人形着付師 三代目安藤桂甫氏が伝統を守り優美な人形を創作しており、当ホテルでも、節句の時期に合わせて雛人形や五月人形をロビーに展示しています。

<竹アーティスト 三橋玄氏について>

大規模な野外音楽フェスティバルのステージ装飾をはじめ、屋内外イベント、店舗やオフィスの内外装などのアート製作を手掛ける。

竹林の整備や保全に取り組む「竹の國」主宰。奈良県桜井市在住。

<三橋玄氏からのメッセージ>

「竹」は日本各地に植えられており、衣食住、芸術など日本文化になくてはならない素材です。しかし、近代化とともにプラスチックなどに取って代わられるようになり、竹を切る人は少なくなり、今では日本中に放置竹林が広がっています。私たちは竹やぶを整備し、美しい竹林を作り、そこからもたらされるものを使って様々なものを作っていく取り組みを、奈良で 12 年前から続けており、今回使用した竹は、明日香村の竹林から取ったものです。

工房で竹の輪を組み合わせながら、効率的な組み方を模索していると、五角形と三角形からなる幾何学的な法則を見つけました。それを組み立てていると通りがかったイタリア人が「何を作ってるの？それはジェネサ (Genesa) よ！」と興奮した声で話しかけてきました。彼女は、この形が神秘的な力を持っていると話してくれました。この神聖幾何学形にはいくつかのパターンがあるそうで、今回の形は「ペンタスフィア (Pentasphere)」と呼ばれています。これらの神聖幾何学形はヒーリングや浄化、農業などに使われています。



工房でオーナメントを製作する三橋氏

国際認証「Sakura Quality An ESG Practice」について

「サクラクオリティ」は、ホテルや旅館等の宿泊施設を中心とした品質認証制度で、日本の観光サービスの品質を第三者が評価し、その品質の高さを認証する仕組みです。

また「Sakura Quality An ESG Practice (通称:サクラクオリティグリーン)」は、SDGs の視点に特化した品質認証制度で、環境・地域社会への配慮、持続可能な企業統治に関する基準により構成され、172 項目によって評価されます。2025 年 5 月、当ホテルはサクラクオリティグリーンの 5 段階の評価のうち「4御衣黄(ぎょいこう)ザクラ」を取得いたしました。「4御衣黄(ぎょいこう)ザクラ」は自然環境や社会への積極的な関与が認められる「Regenerative (リジェネラティブ:顧客が増えるほど、地域環境をより良くする施設)」と位置付けられています。

ザ・プリンス 京都宝ヶ池の SDGs 推進の取り組みの一例をご紹介します。

●共同配送システムの導入により温室効果ガスの削減に努めています。

株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイドでは 2016 年 10 月より自社の都内 8 ホテルにて共通の倉庫から食材を各ホテルにまとめて配送する「共同配送」を開始し、徐々に自社内で実施エリアを拡大してまいりました。

京都・滋賀エリアでは 2024 年 4 月より共同配送をスタートし、同年 11 月からは、オリックス・ホテルマネジメント株式会社との協働で共同配送を実施しております。

●ホテルで排出する生ゴミを循環資源として活用しています。

京都市の京北地域で展開する SDGs プロジェクトのうち、生ゴミをバイオガス化し、その生成物を液肥として農業利用する「京都里山 SDGs めぐるプロジェクト」の趣旨に賛同し、生ゴミの排出事業者として参画しています。

本年 9 月には液肥で育てた米が実り、プロジェクトメンバーが松井京都市長を訪問。収穫したお米をご試食いただきました。



プロジェクトメンバーの京都市長訪問
(2025 年 9 月 25 日)

●このほかにも客室アメニティーのプラスチック製品軽減やこども食堂(くろ谷金戒光明寺)のお手伝いなど、社会や環境のためにホテルができることに積極的に取り組んでいます。

※状況により記載のイベント内容等が変更になる場合がございます。

※写真はイメージです。